

# キリスト教に引き裂かれるアメリカ社会

## ——トランプ 2.0 の宗教政策を検証する——

立教大学文学部教授

加藤喜之 (y-kato@rikkyo.ac.jp)

### 序論

- 問題設定
  - 第二期トランプ政権において、宗教はいかなるかたちで政治に組み込まれているのか
  - 福音派を中心とする宗教勢力は、国内政治および外交にいかなる影響を与えているのか
- 分析視角
  - 宗教＝価値観ではなく
  - むしろ「政治資源」（動員・正当化・アイデンティティ形成）
  - 宗教言説・制度・象徴の三層で把握

### 第1節 トランプ 2.0 の宗教政策

#### 1. 制度化された宗教政策

- 2025年2月6日：「反キリスト教的偏見タスクフォース」
  - キリスト教徒が「被害者」であるという認識の制度化
- 2025年2月7日：「信仰局 (Faith Office)」創設 (ポーラ・ホワイト＝ケイン)
  - ホワイトハウス内に宗教ネットワークを常設化
- 2025年5月1日：「宗教自由委員会」
  - 宗教自由を国内外政策の中核概念として再定義
- トランプ発言
  - 「政教分離は一旦、忘れよう」＝近代的原则の相対化

→ 宗教の「周辺化」から「中枢化」への転換

#### 2. 文化戦争との結合

- 攻撃対象
  - DEI、多文化主義、ジェンダー政策、大学・メディア
- 構図

- 宗教 vs 文化的リベラリズム
- 政策含意
  - 教育・移民・言論空間への介入の正当化

→ 宗教がイデオロギー闘争の言語として機能

### 3. カリスマ系福音派の影響力

- 実践的特徴
  - 異言、癒し、預言など超自然的経験の重視
  - 礼拝のスペクタクル化（感情動員）
- 思想的枠組み
  - 新使徒運動（New Apostolic Reformation）
  - Seven Mountain Mandate
    - 教育・政府・ビジネス・メディア等7領域の支配を志向
- 政治的含意
  - 民主主義的多元性よりも「キリスト教的秩序」を優先

### 4. 象徴政治と殉教者の創出

- チャーリー・カーク暗殺（2025年9月10日）
  - 国家による追悼日設定・自由勲章授与
  - 「キリスト教の殉教者」として再構成
- ヴァンス副大統領の言説
  - 「アメリカはキリスト教国家」
  - 若者に対する使命の継承要求
- 大学批判
  - 「イデオロギー的再教育の場」と規定

→ 宗教的象徴が政治的忠誠の装置として機能

### 5. 外交政策との接続

- イスラエル支持
  - 白人福音派の約7割が好意的
  - 聖書的土地観（ユダヤ・サマリア）
- 宗教自由外交
  - 中国・キューバ等への圧力
  - 国家朝餐祈祷会での「迫害されるキリスト教徒」の演出
- 人事

- 宗教的背景を持つ外交官の登用

→ 宗教が対外政策の正当化言語となる

## 6. 社会的反発と宗教内部の分裂

- 世論
  - タスクフォースに対し 78%が反対
- 宗教指導者による批判声明
- 含意
  - 「キリスト教国家化」への警戒
  - 宗教界内部の亀裂の拡大

## 第2節 政治化する福音派

### 1. 制度的契機（1960年代）

- 最高裁判決
  - 学校祈祷・聖書朗読の排除
- 含意
  - 公的空間からの宗教の後退
  - 福音派にとっての「喪失体験」

### 2. 文化的リベラリズムの衝撃

- 公民権運動・フェミニズム・同性愛運動
- 自由の拡張（人種・ジェンダー・性）
- 福音派の認識
  - 道徳秩序の崩壊
  - 「古き良きアメリカ」の終焉

### 3. 政治運動への転化

- 1979年：モラル・マジョリティ結成
- 特徴
  - 宗教的動機に基づく大衆動員
  - 選挙政治への直接介入
- 主要争点
  - 中絶、家族、教育、性的倫理

### 4. 神学的世界観

- 終末論
  - 世界は墮落しつつあるという歴史観
- 人間中心主義批判
- 含意
  - 政治的闘争を宗教的使命として理解

## 5. 社会的基盤

- 白人保守層の疎外感
- グローバル化・多文化化への反発
- 文化戦争との融合

→ 福音派の政治化 = 神学 + 社会的不満の結合

## 第3節 イラン戦争と宗教

### 1. 戦争の性格

- 政策決定レベル
  - 地政学的・安全保障的判断
- 言説レベル
  - 宗教的意味づけが強い

### 2. 政権の宗教言説

- 戦争の道德化・神学化
- 大統領の象徴化
  - 犠牲・使命・選ばれし存在としての語り

### 3. キリスト教内部の対立

- 戦争支持
  - 終末論的解釈・イスラエル防衛
- 戦争批判
  - 教皇による非暴力・対話の強調
- 含意
  - 単一の「キリスト教的立場」は存在しない

## ■ 結論